



# つぎのいっぽん

地域力、福祉力、市民力 チカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる～市民が主体の地域づくりを!

## 東日本大震災被災者支援・復興応援イベント「縁joy・東北」2020

震災から10年目。千葉県には、今も2,118人の方が避難し暮らしておられます。除染により「帰れる場所」になっても、震災前の暮らしには戻れません。「震災を忘れない」そして、千葉県内で暮らす人たちの交流の場として開催します。

どなたでも、お気軽にご来場ください。

【開催期間】11/4(水)13:00～11/7(土)15:00まで

【開催場所】千葉市さぼーる 1Fアトリウム

【期間中の展示内容】

写真展示：福島県在住の写真家野口勝宏さんの「福島の花」シリーズ

絵画展示：NPO法人3.11こども文庫の「震災当時に福島の子もたちが描いた絵」

支援団体：活動紹介等パネル展示

【交流会企画】

11/4(水)13:20～写真家野口勝宏さんのミニ講演会

11/7(土)13:30～kotomen大川義秋さん(福島県双葉町から埼玉県に避難)

箏の演奏と交流会

主催：「縁joy・東北」2020実行委員会

事務局・問合せ：NPOクラブ 電話 043-303-1688 FAX 043-303-1689 Email npo-club@par.odn.ne.jp

後援：岩手県、宮城県、福島県、千葉県、千葉市



邦楽界の羽生結弦!!  
全国一位に輝くイケメン箏奏者  
KOTOMEN 大川義秋さん

## ちばユニバーサル農業フェスタ2020

ちばユニバーサル農業フェスタは、千葉県の農地を守ることを目的として、農業者、地域住民、障がい者、高齢者、子どもなどが、農業を通じて、出会い、交流する場です。今年は、神崎と四街道の2会場で開催します。

【神崎会場】日時：11/14(土) 10:00～15:00 (少雨決行)

場所：道の駅発酵の里こうざき (神崎町松崎 855)

【四街道会場】日時：12/5(土) 10:30～14:00 (少雨決行)

場所：四街道市文化センター広場 (四街道市大日 396)

○出展内容：農産物、加工品、福祉団体製品などの販売

○新型コロナウイルスの感染予防対策をとって開催しますが、感染拡大の状況によっては、中止・延期をすることもあります。

○会場の広さも限られるため、どちらの会場も出展団体の一般募集は行っていません。

【問合せ先】ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会事務局 NPO 法人地域創造ネットワークちば  
TEL 043-270-5601 E-mail souzounet@coast.ocn.ne.jp



四街道市みんな地域づくりセンターの講座風景

## 市民活動を止めない! 新しい活動様式を整える

新型コロナ感染の影響が長期化する中、私たちNPOは、これまで実施してきた活動様式の変換を求められています。

この半年間で感染防止を徹底した活動方法の工夫がなされ、徐々に新型コロナの不安を越えて、地域ではさまざまな活動が再スタートしています。

「感染防止をしながら経済を回していく」と言われますが、NPOは「感染防止しながら活動を止めない」です。特に対面での活動が主になる居場所活動(高齢者サロン、こども食堂、子ども支援)、高齢者や障がい者の支援活動は感染リスクが高いため、このほか感染防止策の話し合い、マニュアル作成などが行われています。また、各団体ではこの話し合いを通して、活動の目的や団体運営の再確認につながるいい機会だったという声も聞いています。

新しい活動様式として、オンラインでの活動が日常的に取り入れられ、新しい人の参加につながる事例も多々あります。例えば、子育て中のママ、働く世代、学生もオンライ

ンであれば自宅等から参加が可能になります。そして参加の移動時間、交通費、会場費がかからないことは利点です。オンラインの強みを活かした活動がさまざまな分野で広がり新しい人々の参加が期待されます。ただ、今までは通常だったリアルに顔を合わせた時の話し合いやセミナーのほうが、達成感や満足感が高いようです。人と顔を合わせるコミュニケーションで得られる安心感を改めて大切に、オンライン、リアルの特徴を活かした方法を織り交ぜながら、決して活動を止めない、後退させないことが求められています。



「おおなみなみ」での音楽会

### NPO法人の日常会計処理 & 事業報告書作成講座

会計処理は、団体運営の基礎。活動を円滑に進めるためにも、きちんとしたいもの。日常会計処理から年度末の事業報告書作成まで、資料をもとに丁寧に解説、個別の相談にも応えます。

【日時】11/18(水) (Zoom開催)

【講師】加藤 達郎さん (税理士)

【定員】60名 (申込みべ切 11/12、先着順)

1部 13:30～15:15 日常会計処理

2部 15:30～16:30 決算報告書作成

(1部、2部 いずれかのみ受講も可)

受講料無料 主催：千葉県 企画・運営：NPOクラブ  
申込は電話、メールでNPOクラブへ

### NPO法人の労務講座

雇用関係がある場合には、「労務」が必要になります。事業規模にかかわらず労務の基礎を理解し、働きやすく、活動しやすくしましょう。

【日時】12/11(金) (Zoom開催)

【講師】石井 敏則さん (社会保険労務士)

【定員】60名 (申込みべ切 12/6、先着順)

1部 13:30～15:00

労災保険と雇用保険、社会保険のしくみ、NPOの理事は労災保険が使える?

労働基準法上の使用者・労働者とは一ボランティアって労働者?

2部 15:15～16:30

労働基準法を理解しよう 採用/労働時間・休憩・休日・休暇/賃金/解雇・退職

(1部、2部 いずれかのみ受講も可)

受講料無料 主催：千葉県 企画・運営：NPOクラブ  
申込は電話、メールでNPOクラブへ

＜編集・発行＞ 特定非営利活動法人(認定NPO法人) ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂5-21-12 TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689

Mail: npo-club@par.odn.ne.jp URL: http://npoclub.com

ブログ: http://blog.canpan.info/npo-club1

f「Facebook NPOクラブ」で検索 t「twitter NPOクラブ」で検索

・運営会員 23名 賛同会員 100名 発行 800部 会員・県内市民活動支援センター・自治体等にお届けしています。

会員・寄付  
募集中!



# 2020年度千葉県市民活動団体マネジメント事業を受託実施しています。

Withコロナの中、今年度は全講座オンライン(Zoom)での開催となります。

こんな時だからこそ、改めて団体のミッション(活動目的)を再確認し、活動形態の見直し等を進め、活動の継続・拡充をはかりませんか。NPOクラブは、Withコロナでの団体の活動についての相談に対応します。資金調達、オンラインの活用等、お気軽にご相談ください。

## 〈セミナー〉9/7(月)開催報告

〈1部〉初心者も安心 オンライン会議を体験してみよう!

〈2部〉「Withコロナ」での活動を考える『ちえのわ』 情報交換・課題共有し次のステップへ!

受講者 25名

講師 青木 将幸さん

(会議ファシリテーター。あらゆるジャンルの会議ファシリテーションを年間100回のペースで請け負ってきた。が、コロナの影響で、すっかりリアル会議の依頼はキャンセルに。2020年4月1日に「オンライン会議ファシリテーター」として出直すことを決意。すでに100回を超えるオンライン会議のファシリテーションを請け負っている)

1部では、Zoomの基本的な機能の説明とあわせて、Zoomミーティングに参加したメンバーが心地良く意見交換できるような設定、配慮の仕方について、学び合いました。講座の最初はチャットに自分の好きな食べものを書き込むアイスブレイキングから。Zoomでもリアルのミーティングと同様に、参加者の緊張をほぐすことが大事ですね。

〈Zoomミーティングを円滑に進めるポイント〉

- ① いちばん(理解)のペースが遅い人にあわせて進める
- ② リアルの会議よりも、あいつち、了解のポーズを大きく伝える
- ③ 「チャット機能」などを活用することで、参加しやすい環境づくりをする



2部では、布川 佐登美さん(NPO法人ケアラーネットみちくさ代表)から、「ケアラーズ&コミュニティカフェから『見守り弁当』配達へ」をテーマに、加納 基成さん(NPO法人ディープデモクラシー・センター副代表)から「新型コロナウイルスの影響で仕事や住まいをなくした人たちの支援を続ける」というテーマでお話いただいた後、意見交換。

講師の青木さんは淡路島から、布川さんは柏、加納さんは鴨川、NPOクラブは千葉の事務所から、そして参加者は、それぞれのご自宅や事務所から…オンライン(Zoom)の便利さを改めて実感しました。

### 布川さんのお話から

母の介護体験から、介護者=ケアラーは孤立しがちであることを実感→孤立防止で実家を改装し7年前にカフェを始めました。コロナ禍前は、月曜～木曜にオープンしている「カフェみちくさ亭」には、1日あたり25人ほどの人たちがいらしていました。コロナの影響で3月から6月はカフェを中止し、「見守り機能をつけたお弁当」の宅配にシフトしました。7月は、カフェにいらした方が81名、お弁当は以前の約3倍にあたる351人の方に配達しました。宅配事業を継続、拡充するため助成金を得て配達用の車両も購入、今後もニーズに応えていきます。

### 加納さんのお話から

長期路上生活者に医療を提供したり、生活再建支援を行ってきました。17年ぶりに自分の部屋を借りたという人もいます。ひとりひとりの状況にあわせて、食や住まいの提供、就労、免許や戸籍などの回復のための支援を行います。「野宿になるときは段々だけど、もどるときは一段になっている!」と言われます。コロナ禍で、段々の幅が狭くなっていると感じます。シェルターを増設しましたが、ほぼ一杯の状況です。段々を落ちないようにすること、落ちてしまった人が戻れるような地域社会であればよいと思います。

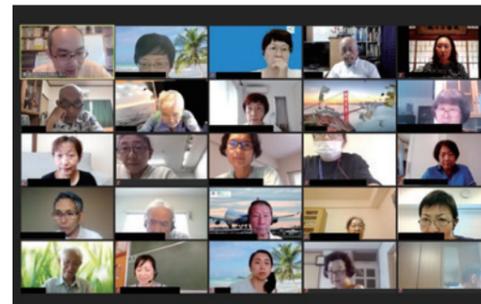
## 9/18(金)開催報告

### ～引き出す、すすめる、まとめる～ オンライン会議のファシリテーション講座

受講者 25名

講師 青木 将幸さん

オンラインのミーティングでも、参加する皆が安心して、気持ちよく発言できる場をつくるには? 活発に意見が出て、質の高い意見交換を可能にするには?といったテーマで、Zoomが初めての人にも丁寧にサポートしていただきました。



〈受講者アンケートから〉

・大勢での会議を行ったことがなく、投票やブレイクアウトルームを使う機会がなかったのですが、初めて体験することができてよかったです。また、字幕など知らなかった機能も知ることができました。他の参加者の方からの質問で自分も気になっていたことを聞けたり、思いつかなかったことを知ることができたのもよかったです。

・オンライン会議とリアル会議の違いを主催側も参加者もよく理解して実施すること。会議でどこまで共有するか目的を明確にすること。Zoom機能の基礎や設定上でいろいろできることを学ばせていただきました。

## 9/26(土)開催報告

### “寄付しようかな”の最後の一步を促す 寄付募集チラシづくりのコツ

受講者 27名

講師 林田全弘さん

(小さなNPOを応援するグラフィックデザイナー)

“寄付しようかな”の最後の一步を促すチラシ7つのチェックポイント

- ①どこで誰にどのように使うか、想定できていますか?
- ②オモテあつまりウラぎしり
- ③他者の声を掲載していますか?
- ④寄付によって得られた成果を説明していますか?
- ⑤目安の金額は提示してありますか?
- ⑥税控除の説明はありますか?
- ⑦すぐにアクションしやすいような配慮はありますか?

〈受講者アンケートから〉

・寄付の方法には、クレジット決済やスマホからの引き落としなどいろいろな方法があるということ、そしてチラシには、その方法を丁寧に記載することが大切だということ、面倒、わかりづらさをなくして安心して寄付してもらえるようにする工夫も大切だということが心に残りました。今後に活かせる学びとなりました。

・チラシは伝えたいことを話す順番で作る!

・チラシづくりについて、「整理」「発想」「表現」どれも提案されたような手順を踏まず作成していたので、なんだかスッキリしました。

※講師から講座資料のデータ版を提供いただいています。関心のある方はご連絡ください。

## 八街市東吉田地域—コミュニティデザイン事業を行っています

### 地域の方たちと一緒に、活動や事業を検討、形にします

生活クラブ千葉グループ協議会が県内7地域で取組んでいる「安心システム」は、高齢者、子育て、子ども支援を中心とした地域づくり活動です。今年度NPOクラブは、八街安心システムの充実に取り組んでいます。

対象となる八街市東吉田地域は、20年前に社会福祉法人生活クラブが特養「風の村」を開設した地域です。すでに、施設を中心にして、制度事業以外のさまざまな地域活動が実践されています。地域住民が参加するサロン活動、買い物バス、子育てサロン、だれでも食堂、外国人住民との交流会など多様なプログラムがあります。さらに住民のニーズを探り、参加者を増やし、住民が主体性を発揮できるようにと考えています。

その基礎となるのが、住民への対面ヒアリングとそのニーズを叶えるために、何をどうすればいいのかを検討するワークショップ開催です。この地域づくりの考え方は、山崎亮氏(studio-L代表)が各地で展開している「コミュニティデザイン」人がつながるしくみづくりです。

この事業では、多くの地域の方と出会い、地域のこと、暮らしのことを聴き、そのニーズに応えるために当事者と共に活動や事業を検討し、形にしていきます。このような仕組みを活用して、多様な人が暮らしている地域を住民が主体的に担っていくことを支援していきたいと考えています。